

## MSUB 留学報告書

文学部 英語英米文学科 4年 中屋敷寧々花

私はアメリカのモンタナ州にあるモンタナ州立大学ベリングス校に2025年9月から2学期間在籍していました。ここでは、この留学経験から感じたことや学んだことを学業面と生活面から報告させていただきます。

(学業)

MSUBでの2学期間では、様々な授業を履修しました。前学期は Spanish, Intro to Literature, Intro to Public Speaking, Intro to Native American の授業を履修し、後期では Spanish, Women, Culture & Society, Enjoyment of Music, Intro to World Cinema の授業を履修しました。MSUBでは自分の興味のある分野を自由に履修することが出来たので、英語力の向上という目的に加えて、専攻である米文学に関連のある分野からいくつか選択しました。特に Spanish と Women, Culture & Society の授業は、たくさん苦勞をしたものの、有益な時間であったと実感しています。

Spanish の授業は唯一2学期間を通して履修した授業であり、第3言語を英語で学習するという日本ではなかなか経験できない学習をすることが出来ました。またクラス自体が小さく、8人前後のクラスメイトと共に学習していたのでみんなと仲良くなることができ、どのクラスよりも楽しく履修することが出来ました。アメリカではスペイン語を第2言語としている人が多くいたものの、もともとスペイン語に興味があつて個人的に学習していたので前期の基礎的な学習はあまり苦勞することなく終えることが出来ました。しかし後期に入って基礎学習を終え、より難易度が上がっていくにつれて苦勞することも多くありました。しかし、MSUBでは学業に対するサポートが厚くいろいろなサポート体制が整っているため、私はスペイン語のチューター制度を利用して自己学習に励みました。加えてスペイン語の教授はとても気さくで温かい方で、授業外でもよく気にかけてくださって2学期間の学習を楽しむことが出来ました。



Women, Culture & Society の授業は他の授業と比べて少し難易度が高く、アカデミックな英語と社会的な新たな知識を得ることが出来ました。授業はクラスメイトと教授の議論中心に展開され、毎授業の予習復習が必須でした。さらに1人当たり約20分のプレゼンテーションとファイナルペーパー、全3回のテストもあり最も大変な授業でした。しかしクラスメイトと協力して

テストに向けて勉強したり、プレゼンテーションに取り組んだり、留学生活を通して自身の成長を最も感じることでできた授業でした。

初めはすべて英語で行われる授業に戸惑いもあり、ついていくのがやっとで周りに比べてうまく話すことが出来ないという劣等感や焦燥感を感じることもありました。クラスメイトをはじめ教授もすごく親身に寄り添ってくれる方ばかりだったので、結果的には英語力の向上に加えて自身の知見を深めることが出来たすごくいい経験になりました。



(生活)

この9か月間の留学生活を通して、たくさんの異文化体験を行うことが出来ました。その中でも印象的だったのは、ネイティブアメリカンの伝統的なお祭りであるパウワウとクリスマスです。パウワウはそれぞれの部族によって年に一度行われ、私はモンタナ州のクロウという部族のパウワウを見に行きました。そこではみんな動物の羽根や細かな装飾のついた伝統衣装を着て音楽に合わせて踊っていて、部族の歴史や迫力のあるダンスに圧倒されました。ひとつひとつのダンスの動きや装飾にも意味が込められていて、生まれ育った文化の誇りを持っている姿に心を打たれました。



また、クリスマスも文化の違いを感じたとてもいい経験でした。宗教的観点からクリスマスは大きなイベントであり、たくさんの友達がクリスマスディナーに誘ってくれました。当日は家族で過ごすのが一般的なので、お家でディナーを食べた後に映画を見たりカードゲームをしたりして楽しく過ごしました。特にクリスマスキャロルという、良いクリスマスが過ごせるように近所の人たちに向けてクリスマスソングを歌って回るという行事に参加できたことが一番の思い出です。アメリカでも実際にこの行事を未だに行っている地域は少なく、本場のクリスマスの雰囲気を感じながらたくさんの人と交流が出来てとても良い思い出になりました。

私はこの留学生活を通してたくさんの経験や異文化学習を得ることができましたが、その中でも得られた最も大きなものは国を超えた友達です。これまで海外に旅行すらしたこともなく、知り合いが全くいない土地に1人で飛び込むことに対して、初めは少しの不安を感じていました。元々友達を作るのは得意だったものの、やはり言語の壁は大きくて友達を作るのにも仲良くなるにも少し時間を要しました。しかしMSUBには日本以外にもたくさんの国からの留学生がいて、特に私は同じく留学生の友達と毎日のように一緒に過ごしていました。みんな寮に住んでいるので、毎日一緒にご飯を食べて夜遅くまで雑談したり、学内のゲームルームのビリヤードで遊んだり最終的には家族のように仲良くなれました。時には長期休暇を利用して旅行に行き、忘れられない思い出を作ること

できました。みんなそれぞれ違う文化背景を持っているにも関わらず、困っているときには必ず助けてくれて、温かい友達ばかりで出会えて本当に良かったと思っています。毎日欠かさず一緒に過ごしていたのでそれぞれ帰国の日に空港でお見送りをするのがとても辛く、お別れをするのが心苦しかったです。しかし、離れてしまってもお互いの国に遊びに行くという楽しみも出来たので、次にみんなに会う約束に向けて継続して英語学習を頑張りたいです。

この9か月間の留学生活では、英語学習だけではなく私のこれからの人生において大きな財産となるものをたくさん得ることが出来ました。留学をする以前の自分自身と比較しても大きく成長しているのを実感しています。このような素敵な留学生活をサポートして下さった MSUB のスタッフの皆さんや、親身に相談に乗って下さった国際教育交流センターの皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。

